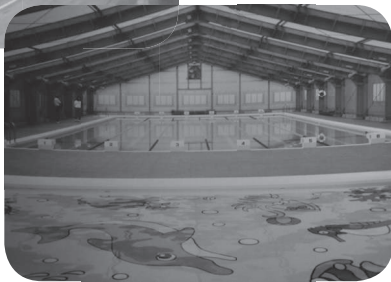


いぬどし
 ~成年・平成30年の新年を迎えて~
“平成”の「まちの姿」を振り返る

平成の元号は今年で30年の節目を迎えました。私たちの郷土積丹の30年間の“まちの姿”を振り返ってみましょう。

< 1990年（平成2年） >

B & G海洋センター完成



平成元年の「みんなの熱意で体育館とプールを誘致しましょう」の運動により、平成2年6月、待望の海洋センターが完成しました。

< 2017年（平成29年） >



平成27年全国2カ所の「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデルセンター」に選ばれ、コミュニティの場として様々な新しい取組が行われています。

< 1992年（平成4年） >

第1回YOSAKOIソーラン祭り参加



北海道の初夏の風物詩「札幌YOSAKOIソーラン祭り」がこの年から始まり、“ソーラン節発祥の地”の当町が「ヤーレンソーラン積丹」チームとして参加しました。

< 2017年（平成29年） >



昨年で26回目を迎えた祭りに、姉妹都市の高知県香美市との合同チーム「ヤーレンソーラン積丹町&香美市」として参加。唯一、26回連続で出場しています。

< 1994年（平成6年） >

サクラマスサンクチュアリーセンター完成



「森と水と人との交わり」をテーマとした、全国初の「サクラマスサンクチュアリーセンター」が余別町に完成しました。



< 2017年（平成29年） >



「森と川と海を育む保護水面」の大切さを全国に発信するため、平成26年から「どっこい積丹さくらます祭り」が行われ、道内外から多くの人たちが訪れています。

< 1996年（平成8年） >

島武意海岸「日本の渚・百選」選定



全国各地の渚の中から、島武意海岸が「日本の渚・百選」に選ばれました。



< 2017年（平成29年） >



「積丹ブルー」を堪能しようと、国内外の観光客が訪れる積丹を代表する景勝地になりました。

< 2004年（平成16年） >

「積丹半島と神威岬」北海道遺産選定



次世代に引き継ぎたい大切な宝物として、「積丹半島と神威岬」が北海道遺産に選ばれました。



< 2017年（平成29年） >



昨年8月、神威岬灯台が「恋する灯台」に認定され、天下の絶景として全国に発信されました。神威岬灯台は、今年開設130年を迎えます。